

平成 30 年 6 月 26 日
総合政策局政策課

三大都市圏の若者は地方移住に強い関心

～平成 29 年度国土交通白書を公表～

今回の国土交通白書では、“大きく変化する暮らしに寄り添う国土交通行政”をテーマに、我が国の人々の暮らしに対する意識を調査し、これらに対応する国土交通省の取組みを紹介しております。

○ 国土交通白書は、毎年度、国土交通省の施策全般に関する年次報告として閣議配布し、公表しているものです。本年は、ライフスタイルに対する国民の意識について、「働き方」「楽しみ方」「動き方」「住まい方」に分けて分析しました。

○ 約 5,000 サンプルを対象に国民意識調査(アンケート調査)を実施したところ、

- ・三大都市圏に住む各世代のうち特に 20 代(4 人に 1 人)が、特に地方移住に関心があること(実際に、地方移住を推進する「認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター」の利用者の年代の推移を見ると、20 代の利用者数は 10 年前の約 5 倍に増加。)

- ・子育て世代がワークライフバランスを重視していること

- ・全体として、高齢社会を見据えた住まい方、駅や歩道のバリアフリー、自動運転技術などに高いニーズがあること

等が分かりました。

また、これらに対応する、全国の空き地・空き家の利活用の促進やバリアフリーによる高齢者等に優しい移動の確保など、国土交通省の取組を紹介しています。

○ 最後に、本白書では、未来に向けて、国土交通行政は、すべての人が輝く社会の実現に向け、安心な暮らし、多様な生き方、充実した人生の実現に貢献する政策に、引き続き取り組んでいくこととしています。

【資料】 資料 1 平成 29 年度国土交通白書の概要

資料 2 平成 29 年度国土交通白書

問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 政策課 政策調査室

戸田、松山 電話 03-5253-8111 (内線 24282、24283)

03-5253-8260 (直通)

FAX 03-5253-1548